

平成16年度試験研究課題設定のための要試験研究問題提案・回答書

(整理番号)	提案機関名	J A さがみ
1 1 4	藤沢南宮農センター	
※記入不要		
要望問題 トマト「かいよう病」の総合対策		
要望問題の内容 【 背景、内容、対象地域及び規模（面積、数量等） 】		
<p><背景> 養液耕栽培におけるトマトの「かいよう病」については、ここ数年生産者と共に苦勞をしています。 防除対策としての決め手がなく、養液耕でのトマト栽培ができなくなるのではないかと心配もあり、早急の対策が必要です。</p> <p><対象地域> J A さがみ管内</p>		
解決希望年限	<input type="checkbox"/> ①1年以内 <input type="checkbox"/> ②2～3年以内 <input type="checkbox"/> ③4～5年以内 <input type="checkbox"/> ④5～10年以内	
研究対応区分	<input type="checkbox"/> ①研究所対応 <input type="checkbox"/> ②委託研究 <input type="checkbox"/> ③共同研究 <input type="checkbox"/> ④その他	
対応を希望する研究機関名	<input type="checkbox"/> ①農業総合研究所 (<input type="checkbox"/> ②根府川試験場 <input type="checkbox"/> ③三浦試験場 <input type="checkbox"/> ④津久井試験場) <input type="checkbox"/> ⑤畜産研究所 <input type="checkbox"/> ⑥水産総合研究所 (<input type="checkbox"/> ⑦内水面試験場 <input type="checkbox"/> ⑧相模湾試験場) <input type="checkbox"/> ⑨自然環境保全センター	

※ ここから下の欄は、回答者が記入してください。

回答機関名	農業総合研究所
部 署	農業環境部
対応区分	<input type="checkbox"/> ①実施 <input type="checkbox"/> ②実施中 <input type="checkbox"/> ③継続検討 <input type="checkbox"/> ④実施済 <input checked="" type="checkbox"/> ⑤調査指導対応 <input type="checkbox"/> ⑥現地対応 <input type="checkbox"/> ⑦実施不可
試験研究課題名	(①、②、④の場合)
対応の内容等	<p>トマトかいよう病の発生は種子伝染（一部土壌等もあります）が原因であり、栽培管理（ハサミ・手等から）により二次感染し被害が拡大します。 これら情報や防除対策法は現地にお伝えしておりますが、徹底的に実行されていないのが現状と思われます。 これまでの調査では、購入苗等により継続して発生している場合もあり、根本的な対策を行わないと継続的な発生を食い止めることは不可能と思われます。また、発病株の栽培管理を中止することやハサミの使用法（畝や株のグループにより使用するハサミを換える）など二次感染しない栽培管理法を実施することで被害を最小に食い止められた事例等があり、これまでにある防除対策法によっても十分効果が上がると考えられます。 種子消毒については病虫害防除所と協力して、種苗会社への種子消毒徹底の要請、当所の機器による種子消毒の実施、農協等への技術情報の伝達等を積極的に行います。</p>
解決予定年限	<input type="checkbox"/> ①1年以内 <input type="checkbox"/> ②2～3年以内 <input type="checkbox"/> ③4～5年以内 <input type="checkbox"/> ④5～10年以内
備 考	